



宇部日報

6月9日 火曜日

発行所 宇部日報社

本社 〒755-8543 宇部市寿町2丁目3番17号
代表 ☎0836(31)4343

©宇部日報社 2026

総合ギフト **ご出産内祝**
快気祝・ご婚礼引出物
慶弔ギフト(満中陰志)
ゴルフコンペ、グラウンドゴルフ
ボウリング他各種景品
宇部市西郷道3丁目12-10
(神楽公園交差点東へ100mサンライズ宇部前)
TEL0836-33-5522
FAX0836-33-5523

きょうの紙面

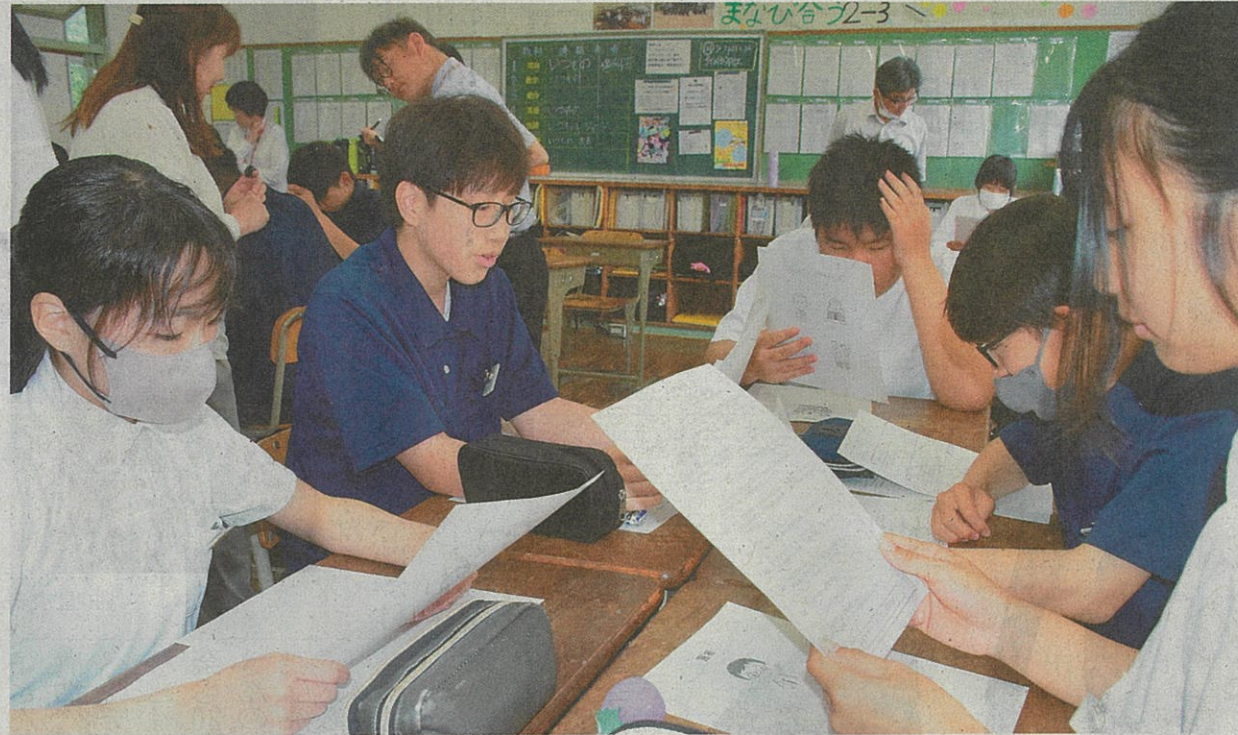
- 大和さんが山門郵便局に陶芸作品展示 ②
- うそ電話詐欺防ぎ藤屋さんに感謝状 ③
- 情報やまくち
- 県スポーツ協会の功労者賞授与式 ③
- イラン攻撃停止も強硬姿勢 ⑩
- 山陽小野田
- 厚狭小で市選管の出前授業 ⑩

電子版アクセスリンク (昨日分)

- ① 8日 日報旗近郷剣道大会写真特集
 - ② 7日 日報旗近郷剣道、団体一般男子の部は三部会日がV
 - ③ 8日 日報旗近郷剣道 291人が団体、個人で熱戦
 - ④ 8日 山野井でクマのような動物目撃
 - ⑤ 8日 宇部市制105周年記念、谷本さん講演会
- <https://www.ubenippo.co.jp/>

購読のお申し込み (平日8:30~17:30) 0120-334946

桃山中で「宇部方式」学習



役に成り切ってせりふを読む生徒たち(桃山中で)

県のキャリア教育事業 2年生がロールプレー

桃山中(糸本康浩校長)で8日、宇部市職員による出前授業が行われた。市が戦後の深刻なばいじん汚染を克服するため、産学官民の協働で展開した独自の公害対策「宇部方式」について、2年生100人がロールプレーを通して学んだ。

県の「あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業」の一環。市環境政策課の福田淳子さんを講師に迎え、市内では、戦後の復興景気に沸く一方、工場から出るばいじん量が世界一で、空は黒い灰が立ち込め、多くの市民がぜんそくで苦しんでいたと聞いた。状況を打開するため、1949年に設立された市ばいじん対策委員会について、生徒たちは市長、工場主、市民、医者に扮(ふん)して意見を述べるといふ設定でロールプレー。4、5人ずつに分かれて、それぞれの

せりふを読み、当時の議論に思いを巡らせた。集じん装置を設置し、登下校時に灰が舞い上がるのを抑える散水車を購入してほしいという市民や医師の要望が、工場主の米国ピッツバーグ市視察をきっかけに実現した流れを理解した。宇部方式による対策効果で60年には、ばいじん量が3分の1に削減され、公害病認定者は出なかったと学んだ。福田さんは「意見が違っても話し合いを続けたからこそ、青い空を取り

環境対策ショートムービー コンテストの参加者を募集

宇部市と市地球温暖化対策ネットワーク(渡邊裕志代表)、宇部ユネスコ協会(射場博義会長)は、地球温暖化対策をテーマにした「環境対策ショートムービーコンテスト」の参加者を募集している。地球温暖化、ごみの削減や不法投棄、生物多様性の破壊などの環境問題

で、自分が実践している、これから取り組むことを動画で表現する。応募費用は無料。作品は30〜180秒の実写、CG、アニメ、スライドなどでオリジナルであれば内容は自由。対象は市内の中学、高校、高専、大学、専門学校に在学中の個人かグループ。司ネットワークの

(中尾)